

東京都医学総合研究所 人対象研究に係る公開事項

研究課題	名称	鎮痛関連物質受容体及び代謝関連の遺伝子多型が顎矯正手術後の疼痛治療に及ぼす影響に関する研究（Pre-studyの「鎮痛関連物質受容体の遺伝子多型が下顎形成術後の疼痛治療に及ぼす影響に関する研究」および「鎮痛関連遺伝子多型判定によるフェンタニル投与必要量予測の下顎形成術後疼痛治療への臨床応用に関する研究」は承認済み）
	目的	本研究は、個別化医療を充実させるため、フェンタニル代謝関連遺伝子多型を調査し、下顎及び上下顎形成術において術後痛に及ぼす影響を解明する。具体的には、術中に採血を行って遺伝子多型を解析し、術後鎮痛薬使用量との関連を調査する。さらに下顎及び上下顎形成術において、構築した予測式の妥当性を検証する。
	実施期間	2026年4月1日から2032年3月31日まで
研究責任者 （試料・情報 の管理責任者）	職・氏名	東京都医学総合研究所 依存性物質プロジェクト 参事研究員 池田 和隆
	連絡先	156-8506 東京都世田谷区上北沢2-1-6 東京都医学総合研究所 Tel：03-5316-3100 E-mail：ikedakz@igakuken.or.jp
研究対象者		属性等： 東京歯科大学水道橋病院において予定顎形成術を受ける15-60歳の患者。（選定基準） ・年齢が15歳未満または60歳を超える患者、また重篤な合併症を有する患者は対象から除外。（除外基準）
試料・情報	取得の方法	本研究課題において、上記選定基準該当者を対象として取得。
	利用目的及び利用方法	利用目的：データ解析 利用方法：DNAサンプルを用いて同定された単塩基多型（SNP）等バリエーションと臨床データ情報との関連性の解析
試料・情報の他機関への提供の有無		あり ・ なし
「あり」の場合：機関の名称及びその長の氏名		国立精神・神経医療研究センター（精神保健研究所） 張 賢徳
利用し、又は提供する試料・情報の項目		試料の項目：DNAサンプルを用いて同定されたバリエーションの遺伝子型データ 情報の項目：鎮痛・疼痛感受性等関連データ情報
利用する者の範囲	研究機関	東京都医学総合研究所
	研究責任者	池田 和隆
	研究機関	東京歯科大学水道橋病院
	研究責任者	福田 謙一
	研究機関	国立精神・神経医療研究センター
	研究責任者	西澤 大輔
利用又は提供の停止		研究対象者又はその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される試料情報の利用又は他の研究機関への提供を停止します。
（受付方法）	郵送	156-8506 東京都世田谷区上北沢2-1-6 東京都医学総合研究所 依存性物質プロジェクト 参事研究員 池田 和隆
	メール送信	ikedakz@igakuken.or.jp
	研究所窓口	156-8506 東京都世田谷区上北沢2-1-6 東京都医学総合研究所
	電話	03-5316-3100
研究計画書等の入手又は閲覧		研究対象者又はその代理人の方は、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内に限り、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧することができます。
（入手・閲覧の方法）		上記（受付方法）に記載の各連絡先へご相談ください。
個人情報の開示手続及び手数料の額		「公益財団法人東京都医学総合研究所個人情報の保護に関する規程」の定めるところによります。
研究対象者等及びその関係者からの相談等への対応		本課題の研究責任者（池田 和隆）あてお問合せください。